



みみょう保育園

令和2年 8月の園だより



【コロナ禍にあっても】

例年より遅い梅雨明けになり、やっと本格的な夏がやってきました。先月は雨の日が多く水あそびが思うようにできませんでしたが、今月は水あそびや絵の具、感触あそびなど、思いっきり五感や身体で感じて夏ならではのあそびを楽しんでいきたいと思えます。

世の中では、コロナウィルス関連のニュースばかりで、広島でも連日感染者が報告され、緊張する毎日が続いています。保護者の方には、お忙しい中、毎朝の検温にご協力いただきありがとうございます。生活の中で当たり前の行動になりつつある手洗い、手指消毒、マスクの着用、3密・感染予防されていない場所への出入りを避けるなどの予防対策をしていただきますよう引き続きお願いします。また、これからお盆や夏休暇などで、県をまたいで移動もあるかと思えます。感染拡大地域へ行かれる方は、十分にお気を付けていただき、体調に変化がある場合は経過観察をお願いします。

園では、感染者が園内で出ない限り通常通りの保育を行い、コロナ禍であっても、いえこのような状況だからこそ、日々の生活やあそびをより充実させ、子どもたちにとって楽しい保育をすすねばと思っております。行事につきましては、例年通りにできないこともあります。今できることを工夫して行いたいと考えています。今月予定している夏まつりについては、毎年夕方から食品やゲームコーナーの夜店を出して、ご家族で参加していただいていたのですが、今年は保育の中で、盆踊りをしたりヨーヨーつりをしたりして楽しんでいきたいと思えます。9月に延期にしております運動会の参加はありませんが、秋以降にコロナの感染状況をみながら、保育参観の中で親子のふれあいあそびや運動あそびを企画したいと考えています。ふれあいの部屋も開催できておりませんが、何かお困りのことやお子さんについてのご相談がありましたら、懇談の場を設けますので、担任までお声かけください。

さて、いつもお便り帳では、お家でのお子さんの様子を伝えていただいています。今回はその一つを保護者の方に了解をもらい、紹介させていただきます。「お姉ちゃん用に小さい机と椅子を置いているのですが、お姉ちゃんがそこに座ると、Hも気になって机に手をかけてひざ立ちに。ひざ立ちができたものの、そこからどうやって戻ろうか…と困惑な様子でした。床までも10cmほど高さがあるので“いけるかな…どうかな…”と思いつつ、ゆっくり手をついて下りていったりと、考えながらチャレンジしていく姿に成長を感じました。」(0歳児Hくんのお便り帳から)

園では、広島県が提示している乳幼児期に育みたい5つの力(気づき・感じる力、うごく力、考える力、やりぬく力、人と関わる力)を視点に、あそびや生活の中で子どもたちの成長について、職員間で語り合ったり、ドキュメンテーションにしたりしています。この力は、教えられて育つものでも、何かができるようになるといった目に見えて分かるものではありませんが、乳幼児期のあそびや生活の中で生まれ、生きる力の基盤となる大切な力です。Hくんの姿からは、身体を動かし、どうしようかと考えながら、最後までやりぬく様子が分かります。またお姉ちゃんと同じようにやりたいと、関心を持って関わろうとする姿も伺えます。そうです。0歳児であっても日常の中で、5つの力をちゃんと育てているのです。また、できたという結果だけをみるのではなく、我が子がチャレンジしているプロセスを、応援するお母さんのまなざしも、Hくんの頑張る力になったのではないかと思います。

今は、いつになったらコロナは収束するのだろうかという先が見えず不安な毎日ですが、子どもたちは日々いろいろなことを経験する中で、たくさんの成長を見せてくれ、私たちに元気と笑顔を届けてくれます。これからも保護者の皆さんと一緒にお子さんの成長を楽しみながら、支えながら、保育してまいりたいと思えます。

園長